

青年期

夢を持ち活力ある未来を創る

方針

- 1 未来を担う若者を育成する
- 2 心豊かで活力ある生活を支援する
- 3 心身ともにすこやかな生活を支援する
- 4 家庭と仕事の両立を支援する

青年期（青少年育成）

方針1

未来を担う若者を育成する



目指す姿

青少年の社会参画や社会的自立に向けた取組が進められ、規範意識の高い青少年が育っている

成果指標



現状と課題

- 学校や家庭以外で、青少年が自分の居場所だと感じることができ、地域や社会とつながることができる場所が求められています。
- また、青少年の自立や規範意識の醸成、地域の担い手やリーダーとなる青少年の育成が求められており、交流・相談の場の充実や青少年のコミュニティ活動への参画を促進する必要があります。

今後取り組むこと



取組1 次世代リーダーの育成

未来を担う次世代リーダーを育成するとともに、青少年が社会や地域で主体的に活動が行えるよう、「青少年の居場所ユープレ」の利用拡大や、青少年の活動を支援します。

取組2 地域参画への第一歩

活動に参画したい市民と、地域団体や各種公益活動団体などの多様な主体をつなげる場の創出など、幅広い世代がコミュニティ活動に参画できるきっかけづくりに取り組みます。

関連する計画

夢とみらいの子どもプラン／シン・コミュニティ構想

関係課

こども・若者政策課／コミュニティ文化課／地域行政センター統括課

みんなができること

- 地元の行事や清掃活動などの地域活動に参加し、交流の輪を広げる。
- 社会や地域で起こっていることに興味を持つ。

青年期 (芸術文化・スポーツ)

方針2

心豊かで活力ある生活を
支援する



目指す姿

芸術文化やスポーツに触れることができる
環境が整っている

成果指標



現状と課題

- ・ 仕事や家庭で忙しく、スポーツや芸術文化に触れる時間が取れない人が多く、気軽にスポーツや芸術文化に触れることができる機会の創出を進める必要があります。
- ・ また、芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくりの実現のために、関係団体との連携を進める必要があります。

取組1 文化学習活動の推進

「まなブック」などの各種情報誌や芸術文化情報発信サイトを通じた、生涯学習講座や教室・サークル活動等の情報発信、まどかフェスティバル生涯学習展の開催など、市民が楽しく学びに触れる機会を創出します。また、まどかぴあをはじめ、各地域においても市民が学習・文化活動できる場を提供します。

取組2 スポーツを続けられる環境づくり

親子が一緒にできるスポーツイベントや市内スポーツ団体と連携した体験会・教室の開催、eスポーツの普及など、スポーツに触れる機会が少ない世代を対象としたスポーツ機会の創出に取り組みます。

関連する計画

芸術文化振興プラン／読書活動推進計画／スポーツ推進計画

関係課

コミュニティ文化課／スポーツ課

みんなができること

- 芸術文化やスポーツに興味を持ち、好きなことを始めてみる。
- 芸術文化やスポーツのイベントに参加する。

方針3

心身ともにすこやかな生活を支援する



目指す姿

日頃から自身の健康づくりを意識した生活を送ることができる

成果指標

	現状		目標 (R10 年度)
一般健診 (20~39歳の生活習慣病に関する健診) 受診者数	175 人	▶	270 人
国民健康保険財政の健全化 (赤字補填のための一般会計からの繰入金)	136,908 千円	▶	0円

現状と課題

- ・近年、新型コロナウイルスの発生や生活習慣病・心の病気の増加が問題となっています。青年期から、生活習慣の改善や健(検)診の受診により、自身の体や健康に関心を持つことが求められています。

今後取り組むこと



取組1 将来を見据えた健康づくり

生活習慣病の予防に対する意識の向上やがん検診の受診促進、また、心の健康についての啓発を行い、青年期から、心と体の健康づくりを行うための取組を推進します。

取組2 社会保障制度の適正運営

国民健康保険の被保険者に対する各種医療給付事業を実施するとともに、国民健康保険の適正な運営に努め、安心して医療を受けられる環境を維持します。

関連する計画

健康・食育プラン／いのちを支える自殺対策計画／保健事業実施計画／国民健康保険運営方針

関係課

健康課／国保年金課

みんなができること

- 規則正しい生活習慣を身につける。
- 適度に休憩し、自身の心身を大切にする。

青年期 (家庭・仕事)

方針4

家庭と仕事の両立を支援する



目指す姿

働きながら安心して家庭生活を送ることができる

成果指標



現状と課題

- ・共働き世帯の増加により、子育て世帯における保育需要は高まっており、保護者が安心して子どもを預けて働くことができる環境が求められています。
- ・また、男性に比べ、女性の非正規雇用の割合が高く、就業継続を希望していても出産や育児等をきっかけとして離職せざるを得ない状況も依然としてあるため、男性を中心とした雇用慣行の見直しや女性が十分に能力を発揮できる社会づくりを進める必要があります。

取組1 仕事と子育ての両立の支援

ひとり親などが残業や就職活動等のため、一時的にこどもの保育を必要とする際の見守り支援を行うほか、保護者が保育所等にこどもを安心して預け、仕事を続けていくことができる環境づくりに取り組みます。

取組2 固定的な性別役割分担意識の解消

男女共同参画社会実現のため固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発を推進します。男性の家事・育児への参画を促進するとともに、出産や育児等で仕事を離れた女性の再就職や起業を支援します。

関連する計画

男女共同参画基本計画

関係課

子育て支援課／人権男女共同参画課

みんなができること

- 仕事と家庭を切り分け、困ったことがあったら一人で悩まずに誰かに相談する。
- 子育てと仕事が両立出来るよう、男女共同参画の社会を理解し、お互い助け合いながら生活する。